



鵜沢敬一理事長

特定非営利活動法人（NPO法人）外航利用運送事業者倶楽部（鵜沢敬一理事長、以下NVOCCクラブ）が昨年9月発足し、海貨業者、トラック業者など、主に中小物流業者を主な対象として、外航運送に関する支援を行っている。会員支援の一貫として、賛助会員のインターリンクの提供により独自の運送約款を準備し、国土交通省から使用認可を取得。国際間複合輸送に対応したもので、会員は同約款を利用することで自社B/Lを発行できる。現時点での会員数は14社。発足後1年で会員数100社を目指して広報活動を行っている。

NVOCCクラブ

中小の外航運送支援

B/Lフォームや情報提供

近年は荷主の海外展開などに合わせ、通関・海貨業者、さらに国内物流専門だった倉庫・トラック企業なども外航第一種利用運送に参入するケースが増えている。

鵜沢理事長は「中小企業は経済的・人的リソースに限界があり、情報収集も難しい。荷主との関係で事故が発生した際の対応や、リスク回避の対策などについて、知識も経験もない。最近では危険品など、取り扱いの難しい貨物も増えている。当クラブでは、そういった

方々の事業展開を支援していきたい」と語る。鵜沢理事長は外資保険大手出身で、海上貨物保険の分野で長年の経験を有する。

認知度向上では、会員

以外も対象とした一般向けセミナーも開催。荷主と運送人の責任関係や、商法など、利用運送に関するテーマについて、定期的な情報提供を行う。

会員向けサービスとして、昨年12月から新たに海上保険が付帯された船荷証券（Insured B/L）の販売も開始した。賛助会員の東京海上日動が引き受ける。

会員規約などNVOCCクラブの詳細は同クラブホームページ(<http://www.nvocc-club.or.jp>)から確認できる。対象とする企業の規模を考慮し、入会金は1万円、年会費3万6000円、リースナブルな料金設定となっている。